

トラクタで落花生の収穫作業

「吉備の国の農起業」を合言葉に広島県福山市と隣接する岡山県笠岡市で農業生産に乗り出したのが福山市の農業生産法人(有)アグリインダストリー。今年は5畝の落花生を植え付けた。10月中旬から始めた収穫作業は1カ月ほどかかった。トラクタに掘取機を装着して落花生を浮かせてから手で引き抜く作業には時間がかかる。来年は落花生収穫機での作業を目指してノウハウを蓄積している。中国四国の地域ルポは4面から。



社 新農林社
 編集発行人 野田 泰典
 岡山県千代田区神田
 32073-14NSLJV2路
 〒101-0054
 電話 03(3291)3671(他)
 FAX 03(3291)5717
 E-mail:shinorin@blue.ocn.ne.jp
 支社 大阪市浪速区元町
 1-3-13(山田ビル2階)
 〒558-0016
 電話 06(6648)9861(他)
 FAX 06(6648)9862
 E-mail:shinncoe@gold.ocn.ne.jp
 購読料一年 14,400円(税込)
 郵便振替 00100-1-170212

本社主催キャンペーンテーマ
農機で支援
全ての農業



円
 ×全高935×1110
 50リットル能
 55リットル
 550箱
 ッパ容量53リットル
 価格
 19万9500円
 △寸法全
 全幅526

億
9800万円
 に

半期決算を発表

。高の影響を受けたのに加
 機械は、国
 え、主力市場である北米
 需要が安定
 で主力の刈払機が流通在
 のエンジン
 庫として残り、中南米で



IEG4000M-Y

インバータ発電機

優れた静粛性、長時間

「IEG4000M-Y」
 を発売した。
 同機は無負荷、軽負荷、
 定格負荷時でエンジン回
 転数を毎分2800回転

新タイプ
 工業用
 島根県広島市
 安佐南区大
 塚西6-2
 11-20
 82(84
 9)200
 1.浅本泰
 社長は静
 粛性と長時
 間運転に優
 れたインバ
 ータ発電機
 運転能
 4時間連続運転を
 実現。
 更に大容量マフラーと
 の相乗効果で4kVAク
 ラストップレベル(本年
 8月同社調べ)となる58
 分(4分の1負荷時)ノ
 60分(定格負荷時)の静
 粛性を達成した。
 商用電源並みのきれいな
 波形の電気を供給する
 インバータ発電方式で、
 パソコンやマイコン内蔵
 電子機器を使用する各種
 検査・測量作業をはじめ、

も一部地域で発生した通
 貨管理の混乱などの特殊
 要因があつて減収となつ
 た。
 通期の連結業績予想に
 ついては売上が248

億万円、営業損失2億5
 千万円、経常損失1億8
 千万円、当期純損失3億
 3千万円へと下方修正し
 ている。

電子制御の電動工具が多
 用する電気工事など、用
 途が広がっている。近年
 はレジャー・家庭用、防
 災用としても需要があ
 る。

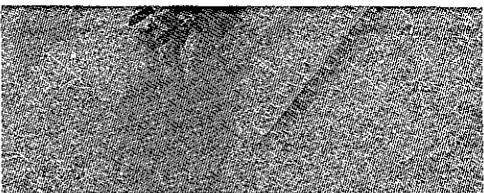
〔仕様〕▽外形寸法
 長780×幅616×高
 692ミリ▽本体乾燥質
 量188キロ▽エンジン
 ヤマハ空冷4サイクル
 H.V.V.定格出力4.0
 kVA
 希望小売価格は56万8
 050円(税込)。販売
 計画台数は年間300
 台。

た。
 これによると当第2四
 半期の連結累計売上高は
 291億5500万円
 (対前年同期比0.3%
 減)で、営業利益が17億
 4800万円(同16.9
 %減)、経常利益21億8
 600万円(同6.6%
 減)、純利益14億170
 0万円(同5.4%増)
 となった。
 ヘルト事業の売上高は
 250億1900万円
 (同0.3%減)。自動
 車用・一般産業用ヘルト
 は為替の影響で微減とな
 った。

三ツ星ヘルト
 第2四半期決算を発表
 三ツ星ヘルト(株)兵
 庫県神戸市長田区浜添通
 4-1-21・垣内一社長
 は11月7日、平成21年
 3月期の決算を発表し

次期の連結業績は売上
 高610億円、営業利益
 35億円、経常利益33億円、
 純利益18億円を見込んで
 いる。
 ※主な為替レート95円
 /米ドル、120円/ユー
 ロを前提に計画策定。

300円、ロワ3千円、トリマーが
 ナが1万95万9800円(税別)。
 ルチが2万2うね草取り機は未定。
 カルマーが4



ワンタッチ着脱できるアタッチメント



うね草取り機を付けての作業

籾殻などを燃料に

バイオマス
 エネルギー
 燃料装置「エコファイヤー」開発

バイオマスエネルギー
 (株)京都市北区鷹峯桃山
 3-1-2050(16

00)2596・水野善

之社長は籾殻やおがく
 すなどの植物バイオマス
 を燃料にして熱風を発生
 させる燃焼装置「エコフ
 ァイヤー」を開発した。
 籾殻やおがく、麦粉、
 竹粉、茶葉などを加工す
 る「おがく」そのまま完
 全燃焼させてエネルギー
 に変えるもの。燃料供給
 装置と燃焼装置とで構成
 するシンプルな構造で設
 置しやすい。価格は約3
 00万円と安価。

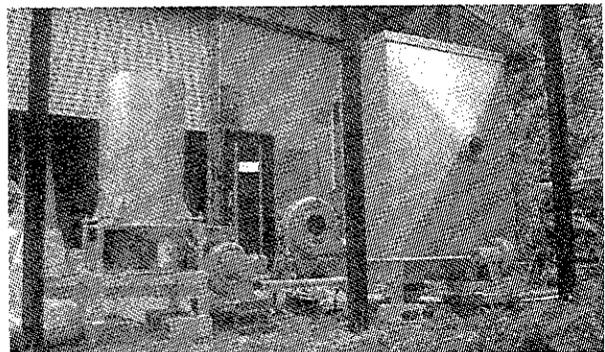
燃料供給装置は直径41

×高さ150センチの円筒
 型。燃焼装置は幅50×高
 さ123×奥行90センチ
 で、温風ファン(風量毎
 分16立方センチ)や灰回収フ

置の導入を提案し、化石
 燃料に頼らない低炭素・
 循環型社会の構築や農林
 業支援に取り組む。

籾殻の燃焼
 後に細粒の
 灰が出る
 が、「J」の灰
 は土壌改良
 材として使
 用できる。

同社は「
 ニールハウ
 スや工場の
 暖房、乾燥
 機、給湯用
 として同装



燃焼装置「エコファイヤー」



農業用機械の業者なら

2万以上のサプライヤーと直接連絡! 安全、簡単なネット取引はアリババで。

V V

驚異、新米味が3年保つ袋

なんと、新米味が3年保つ公的実証有り
柿渋ハッスイ米袋は電気の保冷は不要

Ads by Google

更新日:H20年11月25日

—本社年間キャンペーンテーマ— 農機で支援 全ての農業

出版物 | メルマガ | リンク | 報告会 | 視察団 | 農機本因坊戦 | 過去の記事 | 会社概要

>農機新聞 11月25日付記事トピックス<

▼ 行政

■9割以上が自給率「高めるべき」/内閣府調査

内閣府は11月17日、食料・農業・農村の役割に関する世論調査結果を公表した。9割以上が今後自給率を「高めるべき」と回答しており、自給率向上について国民的な支持があることが分かった。

関連リンク:[内閣府](#)

■担い手の今後の意向と経営動向で調査/農林水産省

農林水産省は11月18日、担い手の今後の意向と経営動向に関する分析(水田作経営)」をとりまとめ公表した。平成9年時点で担い手(主業農家)であった農家85戸について、10年間の経営の変化とあわせ、今後の意向を分析した。新たな取組みを行なう以降がある農家20戸の農業所得は継続農家全体に比べ216%となっており、農業所得の水準が高い事が分かった。

関連リンク:[農林水産省](#)

■秋田県モデル地区が採択/ソフトセルロース事業第2回

農林水産省は11月14日、ソフトセルロース利活用技術確立事業の事業実施地区の第2回公募で、秋田県ソフトセルロース利活用モデル地区を採択したことを公表した。秋田県ソフトセルロース利活用モデル地区の事業実施主体は(社)秋田県農業公社と、カワサキプラントシステムズ(株)。

関連リンク:[農林水産省](#)

■水田作の所得3.6%減/農林省19年個別経営統計

農林水産省は11月18日、平成19年個別経営の営農類型別経営統計を公表した。水田作経営(全国)の販売農家1戸当たり農業粗収益は184万円で前年に比べ1.3%増加した。農業所得は37万円で同3.6%減少となった。

関連リンク:[農林水産省](#)

■福島商組他が受賞/職業能力開発表彰

厚生労働省は平成20年度職業能力開発関係厚生労働大臣表彰及び職業訓練教材コンクールの入賞者を決定した。農機業界からは、厚生労働大臣表彰で技能検定関係で福島県農業機械商業協同組合が、中央職業能力開発協会会長表彰で技能検定事業関係においてヤンマー農機製造(株)、京都府農業機械商業協同組合がそれぞれ受賞した。

●創業昭和8年、当社(株)新農林社が発行する農業機械の専門新聞・週刊「農機新聞」(全国)の記事の概要を紹介しています。週1回の更新。

Web このサイト内

Google 検索

:: お知らせ

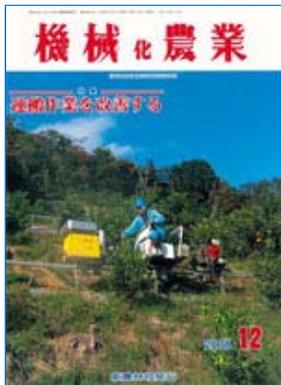
▼2008.11.10

[「海外農機事情報告会」を11月28日に開催](#) NEW

外務省の塩塚事務官をお招きし、新JICA発足に伴い、日本の援助(技術協力)はどう変わるかについて、講演頂きます。

▼2008.11.4

[月刊「機械化農業」12月号を発売](#)



特集は「運搬作業を改善する」です。560円

比較情報サイト

[中古車購入](#) | [賃貸情報](#) | [光ファイバー](#) | [バイク買取](#)

生命保険 比較

[医療保険 比較](#) | [終身医療保険](#) | [がん保険 比較](#)

:: PHOTO NEWS

▼2008.10.30



秋田県種苗交換会／農業機械化ショーが開幕

[>> 写真ニュース一覧](#)

【出版】

- ▶ [新農林社出版物のご案内](#)
- ▶ [農機新聞メルマガ\(無料\)](#)
- ▶ [海外の農機関係書籍](#)

【ナビ】

- ▶ [リンク](#)
- ▶ [農機メーカーリンク](#)
- ▶ [PHOTO NEWS](#)
- ▶ [\(株\)新農林社 会社概要](#)

【本社事業】

- ▶ [海外農機事情報告会](#)
- ▶ [新農林海外視察団](#)
- ▶ [農機本因坊戦](#)

- ・[再来会、再来基金](#)
- ・[ASABE岸田国際賞](#)
- ・[プライバシーポリシーについて](#)

* 記事掲載のメーカーへ製品情報をお問い合わせになる際には「**農機新聞で見た**」とお伝え下さい。

主な出版物

週刊「**農機新聞**」。農業機械関連企業の動き、農業、農機生産、同流通、試験研究の動きを早く正確に伝える専門紙。タブロイド判・年間14,400円(送料込み)



月刊「**機械化農業**」。農業機械化の月刊雑誌。農業生産、農家生活の維持に不可欠の農業機械と施設—その開発状況、利用技術を紹介する専門誌。1年分12冊・9,840円

「**農機価格ガイド**」。現在活躍中の農業機械の価格を機種別、銘柄別、派生型式別に整理して掲載した関係者必携の書。



関連リンク:[厚生労働省](#)

■新委員長に鎌田氏／日農工の国際委員会

(社)日本農業機械工業会の国際委員会は11月14日、新委員長に鎌田榮治氏((株)丸山製作所・取締役海外事業部長)を選任した。

関連リンク:[\(社\)日本農業機械工業会](#)

■新理事長に加藤氏／埼玉県農機商組

埼玉県農業機械商業協同組合は11月17日、騎西市の騎西文化会館において理事会を開催し、新理事長に加藤行夫氏(埼玉農機(株)社長)を選任した。

▼ 特集

■地域ルポ、新時代を迎える生産現場-中国四国地方

- 店がなければ地域を維持できない
- 道路も集落で作る
- 農業機械が支える多面的機能
- 笠岡湾干拓地の可能性
- 大規模農業を展開
- 収穫運搬でのコスト抑える
- サトイモ収穫機を開発／愛媛県農林水産研
- 落花生の機械収穫目指す／福山市
- 薪ガス自動車を展示
- 速度連動の散布制御、ネットワークシステム／近中四農研
- 主要農作物の現状／中国四国農政局
- 中国・四国の優良農機メーカー紹介
- 中国・四国の農業・農機関連統計資料

▼ 新製品ニュース

■ヤンマー、日立建機、サンワ

- ヤンマー、ミニ耕うん機「ポチMRT35E」
- 日立建機、後方超小型旋回型ミニショベル「ZXU-3シリーズ」
- サンワ、高所作業台車「クローラタワーML-724型」

▼ 業界

■サタケ、米粉PRキャラバン隊が活躍

(株)サタケの北陸営業所は米粉の関心が高まってきているため、期間限定の「米粉PRキャラバン隊」を結成し、北陸を中心に各地で開催される農業祭や展示会において、米粉製粉の実演会や米粉パンの試食会を実施して、農業祭や展示会を盛り上げて注目されている。

関連リンク:[\(株\)サタケ](#)

■共立、新型刈払機2機種を発売

容量1.5トンの肥料用コンテナと着脱付替式の肥料分配機の組み合わせにより、移動運搬や倉庫保管も楽な上、効率よく作業できる。

関連リンク:[北海道セイカン工業\(株\)](#)

■エムケー精工、充電式電動はさみを発売

エムケー精工(株)は昨年発売し好評の「充電式電動剪定はさみ」をモデルチェンジし、11月より発売した。発売した「エムケー充電式電動剪定はさみES-220M」は、重量約750グラムで作業時の腕への負担を軽減、最大切断径は20mm、日本人の手の大きさと滑り落ち防止を考慮したスリムなデザインである。

関連リンク:[エムケー精工\(株\)](#)

■【横顔】若井光浩氏(筑水キャニコム常務取締役)

紙面では(株)筑水キャニコムの常務取締役に就任した若井光浩氏のインタビューを掲載。

関連リンク:[\(株\)筑水キャニコム](#)

■新ダイワ、インバータ発電機を発売

新ダイワ工業(株)は静粛性と長時間運転に優れたインバータ発電機「IEG4000M-Y」を発売した。無負荷、軽負荷、定格負荷時でエンジン回転数を毎分2600回転に保ちながら発電を行なうことができ、4分の1負荷時では最大約15.2時間、定格負荷時で約7.4時間の連続運転を実現している。クラストップレベルの静粛性も達成。

関連リンク:[新ダイワ工業\(株\)](#)

■バイオマスエネルギー、燃焼装置「エコファイヤー」開発

バイオマスエネルギー(株)は籾殻やおがくずなどの植物バイオマスを燃料にして熱風を発生させる燃焼装置「エコファイヤー」を開発した。

関連リンク:[バイオマスエネルギー\(株\)](#)

■トキワカンパニー、自動苗移植機が受賞

第12回いたばし産業見本市が、11月13～15日に都内の東板橋体育館で開催された。板橋製品技術大賞の審査委員賞には(株)トキワカンパニーの自動苗移植機「さ夢来くん(さむらいくん)」が選ばれた。沖縄などの「菊」苗の植付けで実用化され使用するユーザーからも好評を博している。

関連リンク:[\(株\)トキワカンパニー](#)

■【決算】バンドー化学、第2四半期決算